

4.2 対外発表

4.2.1 事前対策

論文および口頭発表

木造建築物を対象とした簡便かつ高精度な耐震診断技術の開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	岡田成幸・高井伸雄・田畑直樹	個別防災情報のための「地震動入力ー建物耐震評点ー棟死亡率」の3者間関数化の試み	日本建築学会大会梗概集	平成18年9月
2	岡田成幸・高井伸雄・田畑直樹・名知典之・中嶋唯貴・石田隆司	個人防災に焦点を当て地域防災も視野に入れた被害評価ツールの開発（地震動入力ー建物耐震評点ー棟死亡率の3者間関数化の試み）	日本地震学会 2006年秋季大会	平成18年10月
3	岡田成幸・高井伸雄・島田佳和	微動のカオス性に着目した次元解析による木造住宅の原位置的簡易耐震診断法の開発	第12回日本地震工学シンポジウム講演論文集	平成18年11月

SVMによる簡易耐震診断システムの開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	Qiang XIE and Songtao XUE	Frame Structural Damage Detection Based on Frequency Sensitivity Analysis	Journal of Asia Architecture and Building, Engineering, JAABE, 2006, Vol. 5, No. 1, pp. 137-143	2006
2	Hesheng TANG, Songtao XUE, Rong CHEN and Tadanobu SATO	Online Weighted LS-SVM for Hysteretic Structural System Identification	Engineering Structures, Vol. 28, No. 12, pp. 1728-1735	2006
3	岡田純、林敏光、薛松濤、	振動数変化に基づく構造物のヘルスマニタリングシステムに関する基礎的研究（その1）実物実験、振動台実験及びANSYSの概要	日本建築学会 2006年度大会（関東）、構造Ⅱ、pp.893-894	2006年9月

4	林敏光、岡田純、薛松濤	振動数変化に基づく構造物のヘルスマニタリングシステムに関する基礎的研究その2 結果及び考察,	日本建築学会 2006 年度大会 (関東)、構造Ⅱ、pp.895-896	2006年9月
5	Toshimitsu HAYASHI, Jun OKADA and Songtgao XUE,	Variation of Natural Frequencies for 3F Wooden Structures in Fresh, Damaged and Reinforced States	Proceedings Asia-Pacific Workshop on Structural Health Monitoring, Paper No. 67	Dec. 2006
6	Hesheng TANG and Songtao XUE	Auciliary Particle Filter for Structural Damage Identification” ,	Proceedings Asia-Pacific Workshop on Structural Health Monitoring, Paper No. 4	Dec. 2006
7	Hesheng TANG and Songtao XUE	H Filtering in Neural Network Training and Pruning With Application to System Identification	Journal of Computing in Civil Engineering ASCE (in press).	Jan. 2007
8	K Hijikata, A Mita	Damage detection of wooden buildings using chaos analysis and system identification	Proc. SPIE6174, (in press).	2007
9	三田彰、土方一弘	タイトル:カオス理論と木造建物の健全性診断との関係について	日本建築学会 2006 年度大会 (関東)、構造Ⅱ、p.927-928	2006年

地震時の家具の動的挙動シミュレーターの開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	佐藤芳仁・目黒公郎	振動台実験による家具の転倒防止器具の効果の検証	第 61 回土木学会年次学術講演会	2006. 9
2	伊東大輔・目黒公郎	地震時の家具の動的挙動を考慮した生活空間の安全性評価に関する研究	第 61 回土木学会年次学術講演会	2006. 9
3	目黒公郎・伊東大輔・佐藤芳仁	家具の転倒防止器具の効果を振動台実験によって検証する	25 回日本自然災害学会学術講演会梗概集第, pp. 123-124	2006. 11
4	目黒公郎・伊東大輔・佐藤芳仁	家具の動的挙動考慮した生活空間の地震時の安全性評価	第 25 回日本自然災害学会学術講演会梗概集, pp. 125-126	2006. 11

室内総合安全診断ソフトウェアの開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	高梨勝敏・阿部郁男・佐藤俊也・小野さおり・村上仁	室内危険度診断システムWeb版の公開と効果	日立 TO 技報 第 12 号	平成 18 年 11 月
2	阿部郁男・高梨勝敏・佐藤俊也・岡田成幸	室内危険度診断システムWeb版の公開と効果	第 12 回 日本地震工学シンポジウム	平成 18 年 11 月
3	岡田成幸・名知典之	地震時の室内散乱による負傷者発生確率モデルと室内安全化規準	第 25 回 日本自然災害学会学術講演会講演概要集	平成 18 年 11 月
4	名知典之・岡田成幸	被震下室内における負傷発生事象の確率論的考察と簡易負傷危険度評価指標の提案	日本建築学会東海支部論文報告集 45 号	平成 19 年 2 月
5	阿部郁男	地震発生時の危険度診断	うめの木フェスタ 2006【人間と環境】宮城沖大地震に備える・館うめの木	平成 18 年 11 月 19 日

既存不適格建造物の耐震補強を推進する新しい制度やシステムの開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	吉村美保・目黒公郎	既存不適格建造物の耐震補強を推進する新しい制度やシステムの開発	大都市大震災軽減化特別プロジェクト 耐震研究の地震防災対策への反映 ―事前対策に関する研究― 成果普及パンフレット	2006.12

軸組木造住宅の耐震診断・補強の実践化システムに関する研究				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	村上ひとみ	安全で持続可能な木造住宅の補強を目指して	第 6 回比較防災学ワークショップ、神戸国際展示場、京都大学防災研究所・東京大学生産技術研究所共催、Proceedings, pp.149-161	2006 年 1 月 18 日

2	村上ひとみ	軸組木造住宅の耐震診断・補強の実践化システムに関する研究	大都市大震災軽減化特別プロジェクト総括シンポジウム	2006年12月21日
---	-------	------------------------------	---------------------------	-------------

不動産評価への防災災害リスクの導入				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	星野裕, 根上彰生, 三橋博巳, 宇於崎勝也, 川島和彦, 浅利隆文, 池田太一, 中村八郎, 生田目裕, 遠藤哲也, 杉山遥佳, 加藤陽平	地方自治体の既存木造住宅の耐震診断及び耐震改修制度の実態－東京圏の自治体を対象としたアンケート調査を通して－	第50回日本大学理工学部学術講演会	平成18年11月25日

保険デリバティブ制度の検討				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	宮本龍, 三田彰	センサネットワークを活用した地震デリバティブのトリガに関する研究	2006年度日本建築学会大会学術講演梗概集(B-2)、pp.925-926	2006年

2) マスコミ発表

#	掲載誌・番組	番組タイトル・掲載内容	掲載（放送）日
1	新建ハウジング Web <住宅ニュースページ>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 30 日
2	NIKKEI NET <IT+PLUS ページ>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 30 日
3	NIKKEI NET <プレスリリースページ>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 30 日
4	Nikken Times <ニュースページ>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 31 日
5	河北新報 Web サイト <宮城・社会ページ>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 31 日
6	日刊工業新聞 <建築・物流面>	システム、URL 紹介	平成 18 年 8 月 31 日
7	河北新報 <社会面>	システム、URL 紹介	平成 18 年 9 月 1 日
8	電波新聞 <地域総合面>	システム、URL 紹介	平成 18 年 9 月 6 日
9	日経 MJ <家電・ビジネス面>	システム、URL 紹介	平成 18 年 9 月 8 日

(g) 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定

1) 特許出願

①特許出願番号 : 2004-21996

出願日 : 平成 16 年 1 月 29 日

特許出願公開番号 : 2005-215998

公開日 : 平成 17 年 8 月 11 日

発明の名称 : 建設の振動に関する危険対策の支援システム及び建物の振動に関する危険対策の支援のためのコンピュータプログラム

発明者 : 阿部郁男、村上仁、佐藤博信、岡田成幸

②特許出願番号 : 2006-280249

出願日 : 平成 18 年 10 月 13 日

発明の名称 : 地震発生時における室内散乱に伴う負傷発生軽減支援のための危険確率診断コンピュータプログラム

発明者 : 岡田成幸、名知典之

2) ソフトウェア開発

名称	機能
室内経験度診断システム (Web 版)	地震時の室内散乱状態および人的危険度を評価する。

4.2.2 災害情報

論文発表

ニューメディアを活用した被害情報収集システム				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	村上正浩、市居嗣之、柴山明寛、久田嘉章、遠藤真、胡哲新、座間信作、小澤佑貴	WebGIS を利活用した防災ワークショップに関する研究、	日本地震工学シンポジウム、第 12 回、pp. 1302-1305、	2006 年
2	小澤佑貴、村上正浩、柴山明寛、久田嘉章、座間信作	地域住民による地震被害情報収集と発災対応型訓練に関する実験	日本地震工学シンポジウム、第 12 回、pp. 1398-1401	2006 年
3	柴山明寛、遠藤真、滝澤修、細川直史、市居嗣之、久田嘉章、座間信作、村上正浩	地震災害時における情報収集支援システムの開発	日本建築学会技術報告集、第 23 号、P. 497-502、	2006 年
4	柴山明寛、滝澤修、細川直史、市居嗣之、久田嘉章、村上正浩	平常時から災害時における RFID（無線タグ）を活用した情報共有化システムの研究	地域安全学会論文集、NO. 8、pp127-144	2006 年
5	干川剛史	デジタル・ネットワーキングの社会学	晃洋書房、p1-214（全ページ）	2006 年
6	干川剛史	災害時における ICT 活用のあり方、4	『災害情報』No. 4、日本災害情報学会、p29-39	2006 年
7	干川剛史	広域的災害情報共有・交換システムの可能性と課題	大妻女子大学人間関係学部研究紀要『人間関係学研究』第 7 号、大妻女子大学人間関係学部、p61～p71、	2006 年
8	Sawano, N.	Other matters with oil spill, Asian-Pacific Coasts and Their Managements,	States of the Environment, Springer (査読審査終了・掲載決定)	2006 年
9	越後博之、湯瀬裕昭、干川剛史、高畑一夫、柴田義孝	JGN2 を用いた災害情報システムのロバストネス向上手法の提案	DICOM02006	2006 年

地方自治体の災害対策本部における応急対応支援システムの開発				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	胡 哲新・遠藤真・座間信作	地震災害応急対策需要量推計システムの開発	日本地震工学シンポジウム	2006年

口頭発表

ニューメディアを活用した被害情報収集システム				
	著者	題名	発表先	発表年月日
1	青山敬士、市居嗣之、村上正浩、久田嘉章	防災情報共有支援WebGISを用いた観光地における平常時、及び災害時の適用 伊豆・伊東市をモデル地区として	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、p. 491-492、A-2 分冊、	2006年
2	柴山明寛、細川直史、市居嗣之、久田嘉章、座間信作、村上正浩	地震災害時における情報収集支援システムの開発	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、B-2 分冊、p. 399-400	2006年
3	井上卓哉、久田嘉章、村上正浩、座間信作、柴山明寛、土志田俊次	地域住民参加による地震被害情報収集実験に関する研究	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、F-1 分冊、p. 471-472	2006年
4	土志田俊次、村上正浩、座間信作、久田嘉章、柴山明寛	住民参加による発災対応型訓練の実施と支援ツールの開発について	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、F-1 分冊、p. 473-474	2006年
5	小澤佑貴、村上正浩、柴山明寛、市居嗣之、久田嘉章	WebGIS を活用した防災ワークショップに関する研究 その1: 地域点検マップ作成支援WebGISの運用実験	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、F-1 分冊、p. 795-796	2006年
6	村上正浩、座間信作、柴山明寛、市居嗣之、小澤佑貴、久田嘉章	WebGIS を活用した防災ワークショップに関する研究 その2: DIG 支援 WebGIS の運用実験	日本建築学会 2006 年度大会（関東）学術講演梗概集、F-1 分冊、p. 797-798	2006年
7	市居嗣之、村上正浩、柴山明寛、生井千里、久田嘉章	木造密集市街地における地震防災に関する研究(その11: WebGIS を利活用した防災ワークショップの実施)	地域安全学会梗概集、No. 19、pp. 19-22	2006年

8	久田嘉章、村上正浩、柴山明寛、座間信作、遠藤真	木造密集市街地における地震防災に関する研究（その10：愛知県豊橋市における地域被害情報収集と発災対応型訓練）	地域安全学会梗概集、No.19、pp.23-26	2006年
9	小澤佑貴、村上正浩、久田嘉章、遠藤真、高梨健一、座間信作、関澤愛	木造密集市街地における地震防災に関する研究（その12：住民主体による分散型防災訓練の実施）	地域安全学会梗概集、No.19、pp.27-28	2006年
10	湯瀬裕昭、干川剛史	広域的災害情報共有システムの実用化に向けて	日本災害情報学会第8回研究発表大会	2006年
11	Sawano, N., Hoshikawa, T.	Disaster Information Exchange System by using “Denshi Kokudo” Web System	The International Symposium on Management Systems for Disaster Prevention, Kochi, Japan (CD-ROM)	2006年
12	Sawano, N., Obata, T.	“Denshi Kokudo” Web System - Case of Miyake Island	The International Symposium on Management Systems for Disaster Prevention, Kochi, Japan	2006年
13	Yuze, H., Hoshikawa, T., Takahata, K., Sawano, N., Shibata, Y.	Distributed Disaster Information System over Japan Gigabit Network	The 17th International Workshop on Network Based Information System	2006年

ソフトウェア開発

名称	機能
地方自治体の災害対策本部における応急対応支援システム	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震被害想定 ● 被害想定結果に基づく応急対応需要量の算出 ● 各自治体が予め登録できる対応可能量（備蓄等）との比較による応援需要量の算出 ● 実被害量に基づく需要量の推計 ● 応急対応マニュアルの提示 ● 時系列での優先対応項目の設定・提示

4.2.3 復旧・復興

(1) 大大特 IV-3 「復旧・復興」公開研究会

「近未来の大都市大震災における復旧・復興施策提言のとりまとめに向けて」

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	熊谷 良雄	近未来の大都市大震災における復旧・復興施策提言のとりまとめに向けて	第2回公開研究会	2006.11.26
2	森田 孝夫 阪田 弘一 高木 真人	避難所管理・運営に関する研究開発	第2回公開研究会	2006.11.26
3	村上 ひとみ 榊原 弘之	被災した戸建住宅の補修支援を	第2回公開研究会	2006.11.26
4	熊谷 良雄	膨大な応急住居供給への対応	第2回公開研究会	2006.11.26
5	大西 一嘉	住宅再建政策の提言に向けて	第2回公開研究会	2006.11.26
6	木村 拓郎	被災者の生活再建支援政策は？－大都市大震災を対象とした生活再建の政策立案プログラムの構築－	第2回公開研究会	2006.11.26
7	小林 郁雄	地域産業復興支援方策	第2回公開研究会	2006.11.26
8	中林 一樹 高見沢 邦郎 饗庭 伸 市古 太郎 吉川 仁 加藤 孝明 佐藤 隆雄 池田 浩敬	大都市の間接被害軽減を目指した地域復興計画策定システムと復興まちづくり合意形成支援システムの事前確立に向けて－提言(案)－	第2回公開研究会	2006.11.26
9	濱田 甚三郎	被災市街地復興支援に係わる提言に向けて－みんなの力で、まちの復興に向かうための仮設市街地の提案－	第2回公開研究会	2006.11.26

(2) 大大特総括シンポジウム 復旧・復興

「大都市大震災の復旧・復興にあたっての課題」

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	熊谷 良雄	IV-3 復旧・復興	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
2	森田 孝夫 村上 ひとみ 熊谷 良雄	膨大な避難所運営と応急住居の供給をどうする？	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
3	大西 一嘉 北後 明彦 木村 拓郎 小林 郁雄	住宅・生活・地域産業支援	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
4	中林 一樹 高見澤邦 饗庭 伸 市古太郎 吉川 仁 加藤孝明 佐藤隆雄 池田浩敬 浜田甚三郎 大熊 喜昌 松川 淳子 原 昭夫 山谷 明 江田 隆三 森反 章夫	復興まちづくりを円滑に進めるために	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
5	村上 ひとみ	被災した戸建住宅の補修支援を	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
6	小林 郁雄	復興に向けて重要な 3 つのポイント…地域産業再建と被災地の視点から	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22
7	濱田 甚三郎	提言－仮設市街地づくり	大大特総括シンポジウム	2006. 12. 22

(3) 2006 年度地域安全学会研究発表会 一般投稿論文：ポスターセッション

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	饗庭伸 市古太郎 吉川仁 中林一樹	参加のまちづくり技術を用いた震災復興まちづくり模擬訓練の報告 その3—八王子市における導入型模擬訓練の開発—	第 18 回地域安全学会研究発表会（春期）	2006. 5

(4) 論文発表、その他

(a) 避難所管理・運営に関する研究開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	森田孝夫 安原英子 阪田弘一 高木真人	域外避難を減少させるための地震避難所の地域計画について—大震災軽減化のための避難所の整備計画に関する基礎的研究 その1—	地域施設計画研究 24、pp. 353-362、日本建築学会	2006. 7. 21
2	阪田弘一 橋本いづみ 森田孝夫 高木真人	大震災時の避難所管理・運営における支援体制について—大震災軽減化のための避難所の整備計画に関する基礎的研究 その2—	地域施設計画研究 24、pp. 363-368、日本建築学会	2006. 7. 21
3	森田孝夫	都市大震災時における域外避難と避難所・応急仮設住宅計画の関係について	2006 年度大会学術講演梗概集、建築計画 I、pp. 915-916、日本建築学会	2006. 9. 9

(b) 被災戸建て住宅の補修支援システム

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	榊原弘之 江崎栄 村上ひとみ	地震後の住宅再建における支援金の効果に関する分析	土木学会中国支部研究発表会概要集、58、 pp. 385-386	2006. 6
2	榊原弘之 村上ひとみ 江崎栄 森大輔 中田央嘉	地震後の住宅再建に関する世帯の意思決定要因の分析	土木計画学研究・講演集、33、280-280	2006. 6
3	村上ひとみ 宮脇寛 榊原弘之	震災時の住宅復旧相談支援システムに関する研究—スケジュール管理機能の改良—	第 12 回日本地震工学シンポジウム論文集	2006. 11

4	Sakakibara, H. Murakami, H. Esaki, S.	Strategies for reconstruction of houses damaged by earthquakes	Sixth Annual DPRI-IIASA Forum on Integrated Disaster Risk Management: Risk and Challenges for Business and Industry、Istanbul	2006. 8
5	Murakami, H. Miyawaki, H. Takimoto, K.	Information System to Support Post-Earthquake Consultation Services for Restoration of Damaged Dwellings	Sixth Annual DPRI-IIASA Forum on Integrated Disaster Risk Management: Risk and Challenges for Business and Industry、Istanbul	2006. 8
6	榊原弘之 村上ひとみ	地震後の住宅再建への影響要因と支援制度の効果に関する分析	第1回 防災計画研究発表会	2006. 10
7	Hiroyuki Sakakibara, Hitomi Murakami, Sakae Esaki, and Hisayoshi Nakata	Household's choice on reconstruction of a damaged house after an earthquake -Characteristics of decisions and effects of subsidies-	International Journal of Risk Assessment and Management、in print	2006

(c) 応急住居供給に関する研究開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	子田 大雄 糸井川 栄一 熊谷 良雄 澤田 雅浩	新潟県中越地震における住宅の補修・再建に関する公的支援の現状と課題	地域安全学会論文集 No. 8、pp. 63～70	2006. 11
2	青砥 穂高 糸井川 栄一 熊谷 良雄 澤田 雅浩	新潟県中越地震による中山間地域集落からの世帯移転の要因と世帯移転が集落コミュニティに及ぼす影響に関する研究	地域安全学会論文集 No. 8、pp. 155～162	2006. 11

(d) 被災住宅再建に関する研究開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	大西一嘉 熊谷昌彦 菊池広顕 川口洗葵	自然災害後の被災者再建支援に関する研究 —平成16年台風23号豊岡水害および新潟県中越地震を通して—	神戸大学都市安全研究センター活動報告、第10号	2006. 3
2	北後明彦 樋口大介 室崎益輝	阪神・淡路大震災からみた住宅再建支援のあり方—被災市街地における住宅再建と災害復興公営住宅団地の比較—	都市住宅第53号・研究論文	2006. 4. 25
3	大西一嘉 中出聡	1995年兵庫県南部地震における被災マンションの復興課題に関する研究	韓国住宅管理学研究 第5号	2006. 4
4	袁曉宇 大西一嘉	1996年中国麗江震災からの住宅復興をめぐる現状と課題	都市計画論文集 No. 41-1	2006. 4
5	Robert B Olshansky 中林一樹 大西一嘉	Socioeconomic, Policy, and Planning Aspect of the 2004 Niigata Ken Chuetsu Earthquake	EARTHQUAKE SPECTRA The Professional Journal of the Earthquake Engineering Research Institute SPECIAL ISSUE I, VOLUME 22	2006. 4
6	大西一嘉	地震防災のポイント	平成18年度 和歌山県建築物の地震対策及び応急危険度判定協議会 第5回総会基調講演	2006. 6. 14
7	芝真里子 北後明彦	住宅密集市街地の変容に関する研究—阪神・淡路大震災復興地域の災害に関する安全性に注目して—	2006年度建築学会近畿支部研究報告集第46号、計画系	2006. 6. 16
8	菊池広顕 大西一嘉	水害時の生活再建課題に関する研究 —平成16年台風23号豊岡市円山川周辺の水害を事例として—	2006年度建築学会近畿支部研究報告集第46号、計画系	2006. 6. 16
9	大友諒香 北後明彦	新潟県中越地震後の住宅再建過程に関する研究—早期の生活安定と将来の安全確保を考慮した復興に向けて	2006年度建築学会近畿支部研究報告集第46号、計画系	2006. 6. 16

10	大塚祐治 大西一嘉	分譲マンション管理組合の耐震安全性に関する意識調査	2006年度建築学会近畿支部研究報告集第46号、計画系	2006. 6. 16
11	大西一嘉	災害法制度の歴史	災害復興基本法の交流会	2006. 6. 26
12	塩野計司	中越地震の現場から	災害復興基本法の交流会	2006. 6. 26
13	大西一嘉	マンションの震災対策を考える	浦安市市制25周年記念「うらやす マンション・ふおーらむ 2006」	2006. 7. 1
14	大西一嘉	マンションと防災	2006年度マンション学会管理連続講座 マンション塾	2006. 8. 12
15	北後明彦	2001年インド・グジャラート地震後の都市部での住宅再建・復興	都市住宅第55号・研究発表論文集	2006. 11. 24

(e) 大都市大震災を対象とした生活再建支援の政策立案プログラムの構築

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	木村拓郎	「被災者支援の現状と課題」	(財) 消防科学総合センター 防災啓発研修講演会	2006. 6. 21
2	木村拓郎	「火山噴火対策と噴火後の復興について、みなさんと語ろう！」	2006 火山砂防フォーラム	2006. 11. 9
3	木村拓郎	「脆弱な階層、脆弱な地域の復興支援」	日本災害復興学会準備フォーラム	2007. 1. 13
4	木村拓郎	復興について	毎日放送「ネットワーク1.17」	2007. 1. 13
5	木村拓郎	災害復興ガイド (仮題)	『災害復興ガイド』編集委員会	2007 刊行予定

(f) 産業復興支援方策の研究開発

なし

(g) 被災市街地復興計画の立案・策定システムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	饗庭 伸	事前復興まちづくりのための都市イメージの共有と地域力の醸成	シリーズ：新しい自治が広がる地域社会 ぎょうせい	2006. 7

2	市古太郎	前復興計画論に基づく地区防災まちづくりの新たな可能性	オペレーションズ・リサーチ、vol. 51 no. 10	2006. 10
3	市古太郎 佐藤隆雄 饗庭伸 中林一樹	事前復興対策としての都市復興図上訓練の現状と考察—8回目を迎えた東京区市行政職員向け都市復興図上訓練から—	日本都市計画学会学術研究論文集 41	2006. 11
4	饗庭伸 市古太郎	東京における事前復興の取り組み	地学雑誌 116 巻 1 号	2007. 4 (予定)

(h) 被災市街地復興支援システムの開発

	発表者	題名	発表先	発表年月日
1	江田 隆三	まちの安全性を高めるための防災まちづくりの進め方	NET政治スクール基礎講座	2006. 7. 7
2	松川 淳子	被災から復興へ—仮設市街地をめぐって—	(財)東京都防災・建築まちづくりセンターのセミナー「まちづくりフロンティア 206」F3 首都直下地震への備え	2006. 9. 5
3	濱田 甚三郎	パネル・ディスカッション「安全・安心のまちづくり—地域コミュニティ再生の試み—」	第20回自治体学会神奈川県横浜大会 分科会	2006. 8. 25
4	松川 淳子	AN INTRODUCTION TO THE “HOSSUE” PROJECT —THE POSTQUAKE RECONSTRUCTION OF A COMMUNITY—	ヴァージニア工科大学建築都市計画学科特別セミナー	2006. 10. 16
5	濱田 甚三郎	みんなの力で、まちの復興に向かうための仮設市街地研究	関西学院大学災害復興制度研究所 定例研究会	2006. 10. 24
6	濱田 甚三郎	基調報告『仮設市街地を実現させるための条件』	仮設市街地研究・総括シンポジウム	2006. 11. 11
7	濱田 甚三郎	仮設市街地構想とは	毎日新聞「核心インタビュー—迫」	2006. 11. 15
8	原 昭夫	江東区サバイバルキャンプ指導	江東区立小名木川小学校	2006. 11. 18-19
9	濱田 甚三郎	被災地円卓会議「脆弱な階層、脆弱な地域の復興支援」	日本災害復興学会準備フォーラム	2007. 1. 13

10	濱田 甚三郎	仮設市街地から「地区のまちづくり」は起動するか	早稲田都市計画フォーラム「震災復興のグランドデザインー2030年の東京」第一部:復興まちづくりの時代	2007. 1. 20
----	--------	-------------------------	--	-------------